

こころ豊かに幸せを感じるまちに!

産業振興

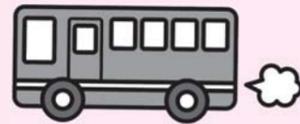
- 新規就農者や農業者向けの助成事業に、より一層取り組むこと。
- 「すいか」「そば」など食文化をアピールし、交流人口の増加や地域経済の活性化を図ること。
- 農産物の直売所は地産地消の拠点、新しい産業の掘り起こしを。
- メガソーラー建設の進捗状況は、町民に周知すること。
- 交流人口の拡大に積極的に取り組むこと。
- 新型コロナウイルスの影響により町の商工業者は多大な被害を受けている。最大限の援助を。

災害対応

- 防災放送難聴地区の解消を。SNSを活用した情報伝達を。
- 水害に備え、築堤、内水処理機能の拡充、避難所など施設の充実を。自主防災意識の向上を促し、被災した家屋、農地等、早く元の生活に戻れるよう最大限の努力を。

福祉関係

- 福祉バスへの町民の意向を的確に把握し、運行内容を検討し利便性を高めること。



道路関係

- 冬期間緊急車両が通れない箇所がある。住民の利便性を図るため、早急に改良工事を行うこと。



教育関係

- 南小学校、北小学校に複式学級が編制されている。早急に統合小学校整備計画を策定すること。



「政策提言書」全文は町ホームページをご覧ください。
<https://www.town.oishida.yamagata.jp>

総合政策

- 定住促進や子育て支援の充実を計画的に実施し、人口減少の歯止めと活性化を図ること。
- インターネットを活用できる環境整備を図り、県内外にPRすること。移住希望者などが町の情報や補助事業等を相談できる総合窓口設置を。
- 流雪溝整備の代替となる除雪方法を検討すること。高齢者向け間口除雪の充実を。
- 新たな町営住宅等の整備や有効な土地活用を。
- 空き家の適正管理と危険空き家の排除に努めること。
- 議員のなり手不足解消のために、女性や若者が議員として活躍できるよう環境整備を。

「町民第一」を掲げた村岡町政が昨年11月にスタートした。町民目線の町政を心がけ、人口減少と地方創生に向けて事業の具現化に取り組んでいるところである。

大石田町議会は二元代表制のもと、町民の意思を反映し開かれた議会を目指すため、平成25年3月に議会基本条例を制定した。

今年は新型コロナウイルスの影響により、各地区での議会報告会を開催できなかったが、日ごろの議員活動の中から町民の意向を取りまとめ、行政運営の更なる充実を求めるため提言するものである。

大石田町議会政策提言書を提出



町民の暮らしを守るため町へ提出(9/24議場)

「政策提言書」提出にあたり

今年の大石田町は、談合事件に始まり、新型コロナウイルスの影響を受け経済が停滞している中、今までに経験したことがない水害に見舞われるなど、大変な一年になるうとしています。そのような様々な情勢であっても、町民の生活は日々続いています。

議会基本条例では、議会報告会を開催することが定められていますが、今年は新型コロナウイルスの影響で実施できませんでした。しかし、町民の生活を守るため、議会の歩みを止めるわけにはいきません。

大石田町議会は町民の生活を守るため、町が行なわなければならない政策をまとめ提言書を提出しました。前回の検証では、評価するとされたのが、わずか2項目にとどまりました。

今回は6分野17項目にまとめた提言書です。どれも町民にとって大事な提言ですので、すべてが評価されるよう、我々議会、そして町執行部も不転の決意で臨まなければなりません。

「議会活性化検討特別委員会

委員長 大山二郎